

## 広聴・広報活動と情報公開

「一人一人が広報パーソン」という自覚の下、職員が一丸となって社会や立地地域の信頼確保に向けて取り組んでいます。

<http://www.jaea.go.jp/O4/kouhou/index.html>

### 広聴・広報活動

社会のニーズを的確に把握し、タイムリーかつ分かりやすく情報提供することを基本に、本年度は機構ウェブサイトの全面リニューアルを行いました。また、研究開発成果を幅広くかつ身近に知っていただくために、研究者・技術者が自らの研究内容を分かりやすく自らの言葉で説明する動画チャンネル「Project JAEA」を新たに作成し、福島での取組や核セキュリティ、地層処分、核変換などについて紹介しました。さらに、写真や画像中心の電子版広報誌「graph JAEA」を創刊し、福島での取組や機構で働く女性研究者を特集して紹介するなど、機構職員の顔が見える工夫を行いました。

相手の立場に立ち、双方向の対話で相互理解を図るための直接対話活動では、立地地域の方々を対象とする事業計画説明会のほか、機構の事業内容を広く知っていただくための施設公開や施設見学会の開催、さらには放射線に対する疑問や不安に答えるべく説明会を福島県や原子力関連施設の立地地域を中心に開催し、全拠点の研究者・技術者が草の根活動として積極的に取り組みました。

一方、若年層に科学の面白さを体験してもらいながら科学技術への理解増進を図る目的として、立地地域の自治体や教育機関などと連携し、小中学生や高校生を対象とした出張授業や実験教室の開催のほか、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校への研究者の派遣、さらには首都圏で開催される科学イベント、「青少年のための科学の祭典」や「サイエンスアゴラ」に出展しました。また、将来の我が国の科学技術を担う理工系の大学生及び大学院生を対象に、原子力機構で行っている研究開発の現状や成果を紹介する大学公開特別講座を開設し、希望する大学に研究者・技術者が出向き、講義を通じて原子力への興味を喚起する取組も積極的に行いました。



青少年のための科学の祭典の様子

### 情報公開・情報提供

機構ウェブサイトを通じて、組織、業務や財務等に関する情報を提供しています。また各拠点に設置しているインフォメーションコーナーでは、原子力機構の業務や研究内容を紹介・説明したパンフレットや各種資料を用意し、どなたでも閲覧できるようにしています。

また、外部有識者から成る「情報公開委員会」を設置し、そこでいただいたご意見等を参考に、情報公開制度の適正な運用と透明性の確保に努めるとともに、情報公開請求に遅滞なく、適切に対応していくこととしております。原子力機構の活動で得られた幅広い原子力分野での研究成果について、発表や取材対応により、メディアを通じて広く国民の皆様や社会にお知らせするよう努めています。また、原子力機構の近況、トピックス、主要施設の運転状況について「原子力機構週報」として毎週取りまとめて発行するとともに、事故・故障等が発生した場合には、迅速かつ正確な情報発信に努めています。

## エコプロダクツ 2013 で環境に優しい研究開発成果を紹介

2013年12月12日～14日、「持続可能な社会の実現」に向けて最先端の技術と知恵を結集した日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ 2013」が東京ビックサイト（東京都江東区）で開催されました。4回目の出展となる原子力機構のブースでは、福島第一事故により被災した地域の飲み水の安心を確保し早期の復興を推進するため、電子線グラフト重合技術を用いて開発したセシウム捕集材（2014年3月27日プレス発表）や、リチウムを日本近海の海水から回収できる画期的な分離回収技術（2014年2月7日プレス発表）、さらには高温ガス炉を中心とする水素社会の実現を目指した取組



エコプロダクツ 2013 の様子

などを、パネルや製品を展示しながら紹介しました。原子力機構ブースには500名を超える方々が来られ、これらの成果が放射線利用や核融合研究など原子力の研究開発から生み出されたものであることに驚きと強い関心を示していました。今後も研究開発成果が身近に感じていただけるよう、情報発信に努めていきます。

## 「自己改革－『新生』へのみち－」をテーマに第8回原子力機構報告会を開催

<http://www.jaea.go.jp/news/symposium/jaea-houkoku8/top.html>

1年間の研究開発成果の総括として、2013年11月26日にニッショーホール（東京都港区）にて報告会を開催しました。

理事長の「開会にあたって－改革へ向けての決意－」と題した報告を機に、「原子力機構改革に向けた取組」として、改革計画に係る経緯や原子力機構改革及びもんじゅ改革への取組を紹介しました。また、前回に引き続き、福島第一事故に関連して廃炉推進に向けた研究開発と環境汚染への対応に係る研究開発の報告を行いました。さらに、最近のトピックスとして、「スピントロニクスの原子力への応用」と「世界標準被ばく線量評価データベースの開発」といった原子力科学研究分野の報告も行いました。これらの報告会の様子をライブ中継で機構ウェブサイトにて公開するとともに、動画も含めた全ての報告資料は機構ウェブサイトにて公開をしています。



第8回原子力機構報告会の様子